

2019 年度事業報告

特定非営利活動法人 関西アロマセラピスト・フォーラム

1. 活動の成果

◇2019年5月26日に開催した講演会では、がんのなかでも、日本女性がかかる割合（罹患率）がトップであり、近年増加している乳がんについて、実際に乳がんを経験された講師をお招きし、貴重な講演を聴くことができました。参加者からは乳がんについて理解を深められたと好評でした。

◇ボランティア活動のハンドケアでの関わりなどで、一般の方にアロマセラピーやタッチケアの素晴らしさを知っていただく機会になりました。

2. 特定非営利活動に係る事業

(1) アロマセラピストの育成・支援事業

・講演会「乳がんになり、ピアサポーターになった私が、乳がん患者の支援で必要だと感じていること」

今回の講演会では、乳がんについて知識を深め、アロマセラピストとしてどのような支援ができるか、どんなケアが望まれるのか、実際の支援方法を体験者から学びたいと、NPO法人京都ワーキングサバイバーで、がん患者のピアサポートや就労支援をされている橘 知世さんを講師にお招きし、お話を伺いました。その後「知っておくと役立つ乳がんの基礎知識」と



題して、理事長で産婦人科医である大門美智子先生より乳がんの基礎知識を学ぶ機会とさせていただきました。最後に質疑応答の時間をもち、参加者からは普段聞くことのないがん経験者の意見がとても参考になった。当事者の気持ちを体験できたと好評でした。

実施日時：2019年5月26日
実施場所：宝塚共同参画センターエル
参加者数：12名



・アロマハンドボランティア

グランポルト宝塚にてアロマハンドケアボランティアを行い、参加して下さったセラピストにハンドケアの指導を行いました。

実施日時：2019年4月20日、5月18日
実施場所：グランポルト宝塚
参加者数：延べ30名

岡山県で平成30年7月に発生した豪雨災害でのアロマボランティアの際に、支援活動を行う災害支援団体（災害人道医療支援会 HUMA）にアロマハンドケアの指導も行いました。



実施日時：2019年11月30日
実施場所：岡山県真備町2か所
(日本アロマセラピー学会主催)
参加者数：12名

(2) アロマセラピストのネットワーク構築事業

アロマセラピストの交流や情報交換が目的のアロマカフェは、参加者の減少により今年度も開催しませんでした。

(3) 親子の絆を育むタッチケア事業

親子の絆を育むラヴィングベビータッチは新規の講座を行わず、インストラクター認定者のサポートを継続しています。

(4) セルフケアを中心とした健康増進事業

・ハートケア事業

がんや難治性疾患患者さんに、痛みや不快な症状や精神的な不安などを解消し、心身ともにリラックスを体験していただきたいと、初回のみ無料でアロマセラピーをご体験いただけるハートケア事業ですが、今年度は希望者がありませんでした。

(5) アロマセラピーに関する調査研究・情報提供事業

本年度は、調査研究等の実施ができませんでした。

3. ボランティア活動

・協和マリナホスピタル緩和ケア病棟（西宮市）

これまでは毎月2回実施していましたが、月1回第4水曜日に変更しました。2月からは新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止しています。

・花友じゅらくだいデイサービス（京都）

月に2回火曜日午後日本産精油を使ったフットケアを行っています。2月後半から新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止しています。

【今後の課題として】

設立当初より、講座やボランティア活動を継続してきましたが、近年は参加者の見込みがつかず、会員数も減少し、継続が難しくなっています。毎年開催している講演会も、今回は「乳がん」という誰にでも起こりうる病気について、前向きに考えることのできる貴重な講演であるのに、参加者を増やすことができず残念に感じました。必要な情報があれば、スマートフォンですぐに調べられる時代に、どのように参加者を集められるか、会員にとって魅力的な会として存続できるのかが、今後の課題であると思います。

活動を縮小している現状ですが、“安全なアロマセラピーを広め、アロマセラピストを応援する”という私たちのNPO設立当時のミッションを忘れずに、今後もできるだけ活動を続けたいと考えています。皆様のお声やご協力をお待ちしております。